

後潟ヒバ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 青森森林管理署
所在地	青森県（青森市）
面積	154.14ha
設定年	大正7年（設定）、平成元年（再編）、平成29年（再編）
保護林の概要 （設定目的）	当保護林は大正7年に設定された、面積154.14haの保護林で、ヒバ、ブナの天然生林の推移を観察し、学術及び施業の参考にすることを目的としている。このことから、今後も自然の推移に委ねることを基本とし、施業等を必要とする場合には管理経営の指針に基づき行うこととしている。



保護林の概況



調査プロット

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年（令和元年）
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査。
調査手法	森林詳細調査として、ヒバ群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	樹高30m近いヒバが林立し、胸高直径60cmを超える個体も多い、非常に貴重なヒバ老齢林である。ヒバの良好な生育が確認された。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

眺望山ヒバ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 青森森林管理署
所在地	青森県(青森市)
面積	44.81ha
設定年	大正7年(設定)、平成元年(再編)、平成29年 (再編)
保護林の概要 (設定目的)	当保護林は、原生林に近いヒバ林の自然推移の観察を目的としている。主として「ヒバ」純林に近い状況があるが、全般的に広葉樹が点在している。原生的なヒバ林で生育が良く、林木の配置、生育状態、林相の遷移状態は学術及び施業状の講師料となっている。このことから、今後も自然の推移に委ねることを基本とし、施業等を必要とする場合には管理経営の指針に基づき行うこととしている。



保護林の概況



調査プロット

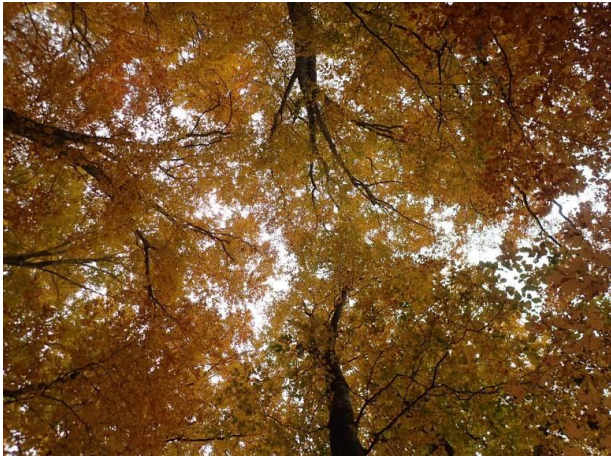
モニタリング調査概要

実施年度	平成31年(令和元年)
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査。
調査手法	森林詳細調査として、ヒバ群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	樹高30m近いヒバが林立し、胸高直径60cmを超える個体も多い、非常に貴重なヒバ老齢林である。ヒバの良好な生育が確認された。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

早池峰山周辺森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 盛岡森林管理署
所在地	岩手県(盛岡市)
面積	480.78ha(全体8,144.71ha)
設定年	平成5年(設定)
保護林の概要 (設定目的)	早池峰山周辺には、超塩基性の蛇紋岩質地域と非蛇紋岩質地域に大別される基岩の相違による植物相の対照が顕著であり、ブナ及びヒノキアスナロ(ヒバ)を主体とする天然林が存在している。北面には国指定天然記念物「アカエゾマツの自生南限地」がある。森林以外にも原生的な自然が良好に保持されており、特産種を含む高山植物の宝庫となっている。本保護地域は、これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護等に資することを目的として設定された。



保護林の概況



調査プロット

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年(令和元年)
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、哺乳類調査等。
調査手法	森林詳細調査として、ブナ優占林に3箇所調査プロットを設定し、定点写真の撮影、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。哺乳類調査、鳥類調査も実施。
結果概要	各プロットともに林相に大きな変化はなく、大きな問題はなかった。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

葛根田川・玉川源流部森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 盛岡森林管理署
所在地	岩手県(雫石市)
面積	4,772.77ha(全体9,391.36ha)
設定年	平成3年(設定)
保護林の概要 (設定目的)	本保護地域は秋田・岩手県境に位置する。標高1,200mまでは原生的な日本海型のブナ林、それ以上の八幡平から大深岳、曲崎山に至る部分などの亜高山帯にはオオシラビソ(アオモリトドマツ)林が広く分布する。貴重種・希少種で構成される種々の植物群落もあり、学術的に優れた地域である。本保護地域はこれらの原生的な生態系を保存することを目的として設定された。



保護林の概況(プロット1周辺)



プロット3近傍 栗木ヶ原湿原

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年(令和元年)
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、哺乳類調査、鳥類調査等。
調査手法	森林詳細調査として、オオシラビソ(アオモリトドマツ)群集において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。哺乳類調査、鳥類調査も実施。
結果概要	各プロットともに林相に大きな変化はなく、植生の生育状況にも目立った変化は見られず、大きな問題はなかった。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

北上山御堂松希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 盛岡森林管理署
所在地	岩手県(岩手町)
面積	10.33ha
設定年	昭和36年(設定)、平成29年 (再編)
保護林の概要 (設定目的)	当保護林は、昭和36年に設定された。御堂松と呼ばれるアカマツの代表的な林分の保存と自然推移の観察を目的としている。自然の推移に委ねることを基本とし、施業等を必要とする場合には、管理経営の方針に基づき行うこととする。



保護林の概況



調査プロット

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年(令和元年)
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査。
調査手法	森林詳細調査として、アカマツ群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	アカマツの生立木については、順調な生育が確認された。一方、調査内プロットでは実生は確認されなかった。アカマツの更新状況については注意が必要であるが、自然推移の一環とも捉えられる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

船形山(御所山)生物群集保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 仙台森林管理署
所在地	宮城県(仙台市)
面積	2,746.23ha(全体7,150.73ha)
設定年	平成11年(設定)、平成16年(面積増)、平成23年(面積増)、平成26年(面積増)、平成29年(再編)
保護林の概要 (設定目的)	船形山(御所山)には広域的に自然植生が分布する。植生の主体はブナ・チシマザサ群落で、裏日本型ブナ林の特徴を持つ。ブナ帯上部には亜高山性の針葉樹林が見られない。亜高山帯域には、風衝草原、ハイマツ群落、ミヤマナラ群落等が立地の自然環境に即して成立する。本保護林は、これらの多様な植物群落を一体のものとして保存するとともに、森林生態系の効果的な保全に資することを目的として設定された。



プロット1



プロット3

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年(令和元年)
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等。
調査手法	森林詳細調査として、ブナ群落において調査プロットを3箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	本保護林は東北地方の典型的な山地樹林植生である。各プロットともに優占樹種の生長がみられ、大きな問題はなかった。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

蔵王生物群集保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 仙台森林管理署
所在地	宮城県(白石市、川崎町、蔵王町、七ヶ宿町)
面積	4,793.12ha(全体6,621.10ha)
設定年	平成12年(設定)、平成16年(面積増)、平成29年(面積増、再編)
保護林の概要 (設定目的)	奥羽山脈の南部に位置する蔵王連峰の山岳地帯に位置し、山地帯から亜高山帯にかけての希少な植物及び群落が見られる。森林生態系の効果的な保全に資するため、これらの植物群落を一体のものとして保存するために設定された。繁殖又は生育する動物にも留意し、原則として自然の推移に委ねるものとする。



保護林の概況



プロット4 カラマツ林

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年(令和元年)
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等。
調査手法	森林詳細調査として、ブナ優占群落やカラマツ林において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	林相等に大きな変化はなく、概ね良好に保護・管理されているとの結果になっているが、プロット4の天然カラマツは風の影響を受けて樹形は変形しているが過年度から継続して空洞や先枯れが確認されている。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

斗蔵山ウラジログシ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 仙台森林管理署
所在地	宮城県(角田町)
面積	11.94ha
設定年	大正8年(設定)、平成29年 (再編)
保護林の概要 (設定目的)	当保護林は旧仙台藩時代に檜の柄を生産する目的のため保護され、また、斗蔵寺に対する信仰もあって現在の林分が保存された。ウラジログシの北限地であり、カヤ等暖地的要素を多く含む林分であることから、当地域のウラジログシ及びカヤを保存するために設定されたものである。



保護林の概況



調査プロットへの道

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年(令和元年)
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査。
調査手法	森林詳細調査として、ウラジログシ群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	調査プロット近傍の樹林において、ナラ枯れの被害が認められ、対策が取られた。プロット内のウラジログシに直接被害は認められていないが、引き続きモニタリングを継続することが適当である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

弥太郎山針葉樹希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 仙台森林管理署
所在地	宮城県（白石町）
面積	35.36ha
設定年	昭和3年（設定）、平成29年（再編）
保護林の概要 （設定目的）	天然アカマツ、モミ、ヒメコマツ、ヒバの天然林で、この林分を保存するとともに、自然の推移に委ねた場合の変化を観察・記録し、学術上並びに森林施業上の資料とする。今後も自然の推移にゆだねることを基本とし、施業等を必要とする場合には、管理経営の指針に基づき行うこととする。



保護林の概況



調査プロット

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年（令和元年）
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査。
調査手法	森林詳細調査として、アカマツ群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	アカマツの生立木については、順調な生育が確認された。一方、調査内プロットでは針葉樹の実生はごく少数しか確認されなかった。アカマツの更新状況については注意が必要であるが、自然推移の一環とも捉えられる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

鳥海山生物群集保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 由利森林管理署
所在地	秋田県(にかほ市、由利本荘市)
面積	2,549.19ha(全体7,240.89ha)
設定年	平成5年(別途設定)、平成16年(別途設定)、平成10年(拡大・再編)、平成29年(再編)
保護林の概要 (設定目的)	鳥海山は、多雪山地型の垂直分布帯が典型的に発達し、亜高山帯針葉樹林帯を欠いた特徴を持っている。概ね標高1,100mまではブナ・チシマザサ群落で、その上部にはミヤマナラ、ハイマツ等の群落が分布し、凹地等には雪田植物群落、ヌマガヤ・ショウジョウスゲ型の草原などが広がる。山頂一帯は、風衝型の矮性低木群落と火山荒原が発達する。このような多様な植物群落を一体のものとして保存するために設定された。



保護林の概況



調査プロット

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年(令和元年)
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等。
調査手法	森林詳細調査として、ダケカンバ群落やブナ優占群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	林相等に大きな変化はなく、概ね良好に保護・管理されているが、近傍の湿地については、乾燥化等の影響を注視することが望まれる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

獅子ヶ鼻湿原希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 由利森林管理署
所在地	秋田県(にかほ市)
面積	26.11ha
設定年	平成3年(再編)、平成9年(拡大)、平成29年(再編)
保護林の概要 (設定目的)	鳥海山の噴火活動等によって形成された「出壺(でつぼ)」と呼ばれる湧水地があり、この出壺から出る豊富な湧水により涵養されて成立した湿地帯と周囲のブナ林によって構成された、独特の景観をなす湿原になっている。この湧水は、人為の影響をほとんど受けることなく植生が遷移しているため、多様な水生・湿原植物が生育している。この獅子ヶ鼻湿原の水生・湿原植物の保護を目的とする。



保護林の概況



調査プロット

モニタリング調査概要

実施年度	平成31年(令和元年)
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等。
調査手法	森林詳細調査として、湿原内及びブナ優占群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	湿生植物については順調な生育状況が確認された。また、周辺樹林のブナ林についても、林相に大きな変化はなく、順調な生育が確認された。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。